

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

平成30年度

市町村名	川口市				
提案事業名	荒川運動公園活性化事業				
事業期間	平成28年度 ～ 平成29年度				
成 果 指 標	(成果を検証する指標) ①公園利用者数 ②公園利用者の満足度				
	(成果検証の具体的な方法) ①現在の公園（野球場2面とラグビー場）の利用者数と事業実施後の公園（野球場1面とラグビー場、ドッグラン、バーベキュー場、水辺の楽校）の利用者数の比較 ②公園利用者の満足度に関するアンケート調査の実施				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A (B) C
	従前値 (H27年3月現在)	①10,690人 ②—	目標値 (H30年3月時点)	①72,589人 ②90%	実績値 (H30年3月時点) ①69,062人 ②満足度67%
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
	住民への公表状況 及び特記事項		市広報紙、ホームページで周知を行う。		

【事業効果の整理・原因分析】

平成29年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 水辺の楽校活用施設整備	○ △ ×	平成26年度に、水辺の楽校の拠点となる親水護岸を国土交通省が荒川運動公園内に整備したことに伴い、公園内に通路を整備し、利便性を向上させたことにより、水辺の楽校の利用者数も向上した。
② ドッグラン整備	○ △ ×	施設の広報活動を積極的に行った結果、利用者数は予想を大きく上回った。 しかし、アンケート調査により、草刈等の維持管理に対する課題を指摘され、満足度は目標値に達しなかった。
③ バーベキュー場整備	○ △ ×	施設の広報活動を積極的に行ったが、夏から秋にかけての長雨や台風の影響もあり、利用者数は予想を下回ってしまった。 また、アンケート調査により、受付時のスムーズな対応や現地での食材提供などの要望があり、満足度の目標値には達しなかった。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	
実施事業について 成果が不十分である点	平成29年度は事業初年度であり、広報活動に積極的に取り組んだが認知不足を解消できていないため、平成30年度も引き続き様々な媒体を利用して利用者向上に努める。 また、ドッグランの維持管理やバーベキューの運営についても利用者の声を反映し満足度向上に努めていく。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない